

# ハローワークの求人情報オンライン 提供に関する提言

2014.2.27



一般社団法人 人材サービス産業協議会  
Japan Association of Human Resource Services Industry

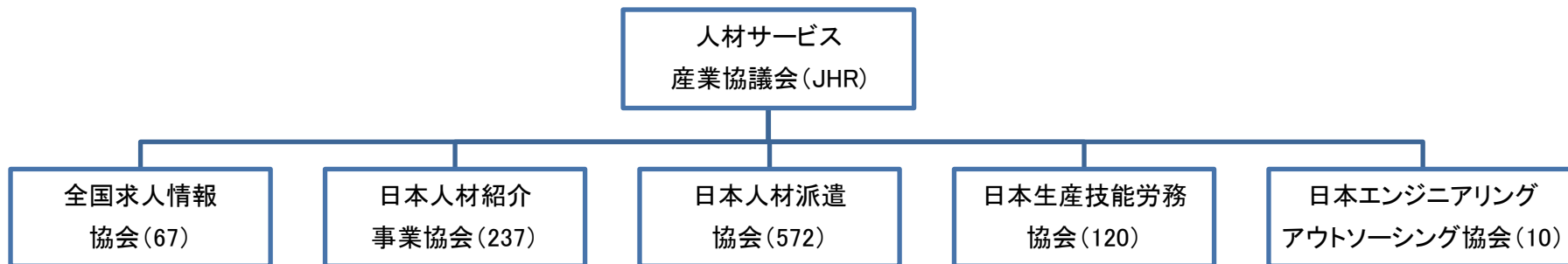


# 人材サービス産業協議会 (JHR) の概要

## 【人材サービス産業協議会】

2012年10月に設立された民間人材サービス業界団体の連携横断組織

(英語名称) Japan Association of Human Resource Services Industry



### ● ミッション

JHRは雇用構造の変化や新たな労働市場の要請に応え、健全かつ円滑な次世代労働市場を創造する。

### ● 人材サービス産業が取り組む5つのテーマ

- 1) マッチング・就業管理を通じたキャリア形成の支援
- 2) 採用・就業における「年齢の壁」の克服
- 3) 異なる産業・職業へのキャリアチェンジの支援
- 4) グローバル人材の採用・就業支援
- 5) 人材育成を通じた人材サービス産業の高度化

# 1、ハローワークの現状

●全国で約200万の未充足求人と未決定求職者が存在 ※有効求人数・求職者数からみた場合

		平成25年度(月平均)		
		全国	東京	鹿児島
新規	求人数	794,255	106,579	11263
	求職者数	542,473	48,226	10002
有効	求人数	2,120,933	293,587	28895
	求職者数	2,292,475	220,393	40511
就職件数		176,499	12,579	3,980
新規	未充足求人数	<b>617,756</b>	94,000	7,283
	未決定求職者数	<b>365,974</b>	35,647	6,022
有効	未充足求人数	<b>1,944,434</b>	281,008	24,915
	未決定求職者数	<b>2,115,976</b>	207,814	36,531
就職率	就職件数/有効求職者数	7.7%	5.7%	9.8%
充足率	就職件数/有効求人数	8.3%	4.3%	13.8%

## 2、提言の背景

### ①入職経路からみたハローワークと民間人材サービス

- ハローワーク経由と民間人材サービス経由の入職はともに3割弱と拮抗
- 一方、民間職業紹介会社の入職経路は2.3%と低い

	ハローワーク (HWインターネット含む)	民間人材サービス		縁故	他
			民間職業紹介		
入職経路シェア	<b>28.9%</b>	29.7%	<b>2.3%</b>	23.4%	18.2%

出所:厚生労働省 雇用動向調査2010

## 2、提言の背景

### ②利用者(個人)の転職前年収

- ハローワークと民間職業紹介を利用する転職者の年収に大きなギャップが存在

転職情報源		転職前年収
		(平均: 単位万円)
ハローワーク		314.2
民間	民間職業紹介	560.2
	人材派遣	321.9
	求人広告	285.9
縁故		365.4
その他		403.0
全体		344.0

出所: リクルートワークス研究所 ワーキングパーソン調査2010

## 2、提言の背景

### ③入職経路毎の非正規雇用比率の比較

- ハローワーク求人の非正規雇用比率は56%となっているが、民間職業紹介はそのほとんどが正規雇用である

	ハローワーク※	民間職業紹介	求人広告	人材派遣
求人の内容	正規雇用 44% 非正規雇用 56%	正規雇用が主	正規雇用と 非正規雇用	紹介予定派： 正規雇用が主  一般派遣： 非正規雇用が主

※出所：平成21年厚生労働省職業安定局調べ

## 2、提言の背景

### ④職業別にみた求人件数シェア

- ハローワークではサービス、専門的・技術的、販売の求人が多い
- 民間職業紹介では専門的・技術的職業の締める割合が高く、サービスや販売のシェアは低い

	ハローワーク求人※1	民間職業紹介※2	求人広告件数※3
サービス	22.5%	7.5%	<b>32.0%</b>
専門的・技術的	21.6%	<b>54.6%</b>	14.5%
販売	13.5%	10.8%	<b>20.7%</b>
合計	57.6%	72.9%	67.2%

※1 出所:厚生労働省 一般職業紹介状況2012

※2 出所:全求協 主要メディアの職種別広告件数(平成24年.4月~9月)

※3 出所:厚生労働省 職業紹介事業報告2011

## 2、提言の背景

### ⑤求人企業がハローワークを利用する理由

- 企業がハローワークを利用する理由として最も多いのは「無料だから」

求人企業がハローワークを利用する理由	事業所数
無料である	68
公的機関が実施し安心	55
求職者を紹介してもらえる	28
所在地以外にも情報を提供	27
その他	5

出所：総務省東北管区行政評価局「ハローワークにおける求人求職情報の適正化に関する行政評価・監視



## 未充足求人、未決定求職者の決定率を高めるために

- 1) 民間職業紹介だけでなく、むしろ求人広告や人材派遣会社への開放が転職者、企業双方のニーズに合致している
- 2) イコール・フッティング(給付金の拡大等)と併せ、手続き等の簡略化が求められる
- 3) ハローワーク内で民間人材ビジネスの情報にアクセスできる端末を設置し、求職者の「自己決定率」の最大化を図る



## (参考)ハローワークの紹介が条件の「従業員を新たに雇い入れる場合の主な助成金」

### ○トライアル雇用奨励金 ★

職業経験、技能、知識等から安定的な就職が困難な求職者について、ハローワーク等の紹介により、一定期間試行雇用した場合に助成するものであり、それらの求職者の適正や業務遂行可能性を見極め、求職者および求人者の相互理解を促進すること等を通じて、その早期就職の実現や雇用機会の創出を図る

### ○若者チャレンジ奨励金(若年者人材育成・定着支援奨励金) ★

35歳未満の非正規雇用の若者を、自社の正社員として雇用することを前提に新たに雇い入れる、又は既に雇用している労働者に訓練を実施する場合、自社内での実習(OJT)と座学(OFF-JT)を組み合わせた訓練(若者チャレンジ訓練)を実施する事業主に、訓練奨励金、正社員雇用奨励金を支給

### ○障害者トライアル雇用奨励金 ★★

### ○地域雇用開発奨励金 ★

### ○特定求職者雇用開発助成金(高年齢者・障害者・母子家庭等) ★

★★=ハローワークの紹介のみが条件になっている。

★=ハローワークまたは民間の職業紹介事業者等の紹介が条件になっている